1　国語

学校番号	３０２３

令和３年度　国語科

教科	国語科	科目	国語総合 （国語甲：現代文）	単位数	５単位 （２）	年次	１年次
使用教科書	「改訂版　国語総合　現代文編」（数研出版）						
副教材等	「プレミアムカラー国語便覧」（数研出版株式会社）、「入試頻出漢字＋現代文重要語彙 TOP2500 三訂版」（株式会社いいずな書店）、「基礎現代文　大学入学共通テスト対策　新装版」（尚文出版株式会社）						

※　国語総合は、国語甲（現代文）と国語乙（古典）の総合評価によって、成績を算出する。

1 担当者からのメッセージ

【国語甲（現代文）】を学ぶ

授業では、評論、随筆、小説、短歌、俳句、詩などの作品を読みます。

①まず作品を楽しみましょう。自分の中の好奇心を育てましょう。

②作品を読みながら、我々が生きる現代社会の抱えるさまざまな問題、また自分が抱える問題をより良い方向へ進めていくのに重要な視点は何か、を考えましょう。

③筆者、級友、教員などの他者の考え、自分とは異なる考えに耳を傾けましょう。

④①～③を通して自分の考えを整理し、文章にしたり、他者に伝えたりする練習を重ねていきましょう。

⑤①～④を通して、自らの内面を豊かに耕し、生きていく糧の１つを手にしてほしいと考えています。

2 学習の到達目標

・散文・韻文を含めたあらゆる文章を読解するための基礎力をつける。
・論理的文章を読みこなす能力、文学作品を鑑賞する能力を養い、豊かな人生の土台をつくる。
・文章を書く、あるいは発表をすることで、自己の考えを的確に他者に伝える能力を育てる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	授業への取り組み、課題提出の内容等。	授業における取り組み、課題提出の内容等。	記述課題の評価、定期考査等。	定期考査・課題等。	小テスト、定期考査等。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、それぞれの観点を適切に配分して学年末に５段階の評定にまとめる。

４ 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期 第1中間考査	随想(一)	知の体力 永田和宏 （p.6～p.9）	◎	○	○	○	○	a:文章の表現効果の把握 b:筆者の心理の把握 c:本文内容の理解 d:作品テーマについての考察 e:漢字・語句の意味等の理解	定期考査 小テスト 課題　等
	評論(一)	水の東西 山崎正和 （p.10～p.15）	○	○	○	◎	○	a:文章の表現効果の把握 b:筆者の心理の把握 c:本文内容の理解 d:作品テーマについての考察 e:漢字・語句の意味等の理解	定期考査 小テスト 課題　等
	評論(一)	ネットが崩す公私の境 黒崎政男 （p.18～p.23）	○	○	◎	○	○	a:文章の表現効果の把握 b:筆者の心理の把握 c:本文内容の理解 d:作品テーマについての考察 e:漢字・語句の意味等の理解	定期考査 小テスト 課題　等
前期 第2中間考査	表現1・2	スピーチ （p.224～225） 文章要約 （p.226～227）	○	◎	◎	○	○	a:よいスピーチについての把握 b:話し方の工夫 c:スピーチの構成メモの作成 e:効果的なｽﾋﾟｰﾁの方法の理解	課題　等
	小説(一)	「羅生門」 芥川龍之介 （p.156～p.169）	○	○	○	◎	○	a:各場面描写の効果の把握 b:登場人物の心理の把握 c:本文内容の理解 d:作品テーマについての考察 e:漢字・語句の意味等の理解	定期考査 小テスト 課題　等
	評論(二)	「わらしべ長者」の経済学 梶井厚志 （p.52～p.59）	◎	○	○	○	○	a:文章の表現効果の把握 b:筆者の心理の把握 c:本文内容の理解 d:作品テーマについての考察 e:漢字・語句の意味等の理解	定期考査 小テスト 課題　等
	詩	六月 I was born サーカス （p.42～p.51）	○	○	○	◎	○	a:言葉の美しさ、深さの把握 b:表現形式と特徴の把握 c:本文内容の理解 d:作品の持つﾒｯｾｰｼﾞ性の考察	定期考査 小テスト 課題　等

								e:漢字・語句の意味等の理解	
前期末考査	評論(三)	時間と自由の関係について 内山節 （p.70～p.79） 無痛化する社会のゆくえ 森岡正博 （p.80～p.86）	○	○	◎	○	○	a:文章の表現技法の把握 b:筆者の心理の把握 c:本文内容の理解 d:作品テーマについての考察 e:漢字・語句の意味等の理解	定期考査 小テスト 課題　等
	短歌と俳句	正岡子規、与謝野晶子、 石川啄木、北原白秋、 中村草田男、山口誓子、 他 （p.150～p.159）	◎	○	○	○	○	a:言葉の美しさ、深さの把握 b:表現形式と特徴の把握 c:本文内容の理解 d:作品の持つﾒｯｾｰｼﾞ性の考察 e:漢字・語句の意味等の理解	定期考査 小テスト 課題　等
	評論(三)	浪費を妨げる社会 國分功一郎 （p.87～p.93）	○	○	○	◎	○	a:文章の表現技法の把握 b:筆者の心理の把握 c:本文内容の理解 d:作品テーマについての考察 e:漢字・語句の意味等の理解	定期考査 小テスト 課題　等
	表現4・5	意見文 （p.232～p.235） ディベート （p.236～p.237）	○	◎	○	○	○	a:話し合いへの積極性 b：主張の論拠の準備 b:説得力のある話し方 d：情報や資料の適切な提示 e:ﾃﾞｨﾍﾞｰﾄという討論形態の理解	課題　等
	随想(二)	匂いは、いつも言葉の奥の何かを 川上未映子 （p.94～p.99）	○	○	○	◎	○	a:文章の表現技法の把握 b:筆者の心理の把握 c:本文内容の理解 d:作品テーマについての考察 e:漢字・語句の意味等の理解	定期考査 小テスト 課題　等
後期中間考査	評論(四)	「間」の感覚 高階秀爾 （p.100～p.109） 添削の思想 外山滋比古 (p.110～p.115)	○	○	○	◎	○	a:文章の表現技法の把握 b:筆者の心理の把握 c:本文内容の理解 d:作品テーマについての考察 e:漢字・語句の意味の理解	定期考査 小テスト 課題　等

	小説(二)	富岳百景 太宰治 （p.116～p.135） 旅する本 角田光代 (p.136～149)	○	○	○	◎	○	a:各場面描写の効果の把握 b:登場人物の心理の把握 c:本文内容の理解 d:作品テーマについての考察 e:漢字・語句の意味等の理解	定期考査 小テスト 課題　等
後期末考査	評論(五)	動的平衡の回復 福岡伸一 (p.160～p.167)	○	○	○	◎	○	a:文章の表現技法の把握 b:筆者の心理の把握 c:本文内容の理解 d:作品テーマについての考察 e:漢字・語句の意味等の理解	定期考査 小テスト 課題　等
	小説(三)	城の崎にて 志賀直哉 (p.174～p.185)	○	○	○	◎	○	a:各場面描写の効果の把握 b:登場人物の心理の把握 c:本文内容の理解 d:作品テーマについての考察 e:漢字・語句の意味等の理解	定期考査 小テスト 課題　等
	評論(六)	他者を理解するということ 鷲田清一 (p.215～p.222)	◎	○	○	○	○	a:文章の表現技法の把握 b:筆者の心理の把握 c:本文内容の理解 d:作品テーマについての考察 e:漢字・語句の意味等の理解	定期考査 小テスト 課題　等

※ 表中の観点について

a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力　　c:書く能力　　d:読む能力　　e:知識・理解

※ 年間指導計画作成上の留意点

原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において、特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。また、生徒の学習達成度により、予定を変更する可能性がある。

1　国語

学校番号	３０２３

令和３年度　国語科

教科	国語科	科目	国語総合 （国語乙：古典）	単位数	５単位 （３）	年次	１年次
使用教科書	「改訂版　国語総合　古典編」（数研出版）						
副教材等	「プレミアムカラー国語便覧」(数研出版株式会社)、「新精選古典文法　改訂版」(東京書籍株式会社)、「読んで見て覚える　重要古文単語 315［三訂版］」(株式会社桐原書店)、「精選漢文～重要な句法と語彙を学ぶ～」(尚文出版株式会社)、「基礎古典　大学入学共通テスト　新装版」(尚文出版株式会社)						

※　国語総合は、国語甲（現代文）と国語乙（古典）の総合評価によって、成績を算出する。

１ 担当者からのメッセージ

【国語乙(古典)】を学ぶ

授業では、時期で言えば、約二千年前の作品から約二百年前の作品まで、ジャンルで言えば小説、随筆、歴史物語、日記、和歌、漢詩などの作品を読みます。

①まず作品を楽しみましょう。自分の中の好奇心を育てましょう。

②現代の我々を取り巻く文化は、「古文」「漢文」が伝えてきた、人間や自然をどう捉えるか、どう生きるかという視点の影響のうえに成り立っています。

③また古典の作品では、現代の作品とは異なる視点ながら、人間のありように深く迫る作品が存在します。

④このような魅力を持つ古典の作品を読み、鑑賞し、筆者、級友、教員など他者の捉え方に耳を傾けることで、自らの内面を豊かに耕し、生きていく糧の１つを手にしてほしいと考えています。

２ 学習の到達目標

・優れた古典の文章を通して、作品の背景知識や我が国の伝統と文化に対する理解を深める。
・【古文】主要な古語、用言・助動詞・助詞の文法の基礎、敬語の基本を理解する。
・【漢文】漢字の語義、返り点や句法の基礎を理解する。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。

主たる評価方法	授業への取り組み、課題提出の内容等。	授業における取り組み、課題提出の内容等。	記述課題の評価、定期考査等。	定期考査・課題等。	小テスト、定期考査等。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、それぞれの観点を適切に配分して学年末に５段階の評定にまとめる。					

４ 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期 第1中間考査まで	説話 宇治拾遺物語	「児のそら寝」 (p.8～p.9) 古文チェックポイント(1) (p.10～p.11) 「絵仏師良秀」 (p.12～p.13) 古文チェックポイント(2) (p.16～p.17)	◎			○	○	a:音読による、語感・文体の習得への積極性 b: 授業の教材解説に対する理解 c: 本文・口語訳書写や提出課題の正確さや丁寧さ d:脚注参照による本文内容や背景知識の理解・口語訳 e:歴史的仮名遣い・重要古語等の理解	定期考査 小テスト 課題 等
	入門	入門一 (p.90～p.91) 漢文チェックポイント(1) (p.92～p.93) 入門二 (p.94～p.95) 漢文チェックポイント(2) (p.96～p.97)	◎			○	○	a:音読による、語感・文体と返り点の習得への積極性 b: 授業の教材解説に対する理解 c: 口語訳書写や提出課題の正確さや丁寧さ d:脚注参照による本文内容や背景知識の理解・口語訳 e:重要語・句法等の理解	定期考査 小テスト 課題 等
前期 第2中間考査まで	随筆 徒然草	「ある人、弓射ることを習ふに」(p.22～p.23) 「奥山に猫またといふものありて」(p.26～27) 「花は盛りに」 (p.28～p.29) 古文チェックポイント(3) (p.30～p.31)	○			◎	○	a:音読による、語感・文体の習得への積極性 b: 授業の教材解説に対する理解 c: 本文・口語訳書写や提出課題の正確さや丁寧さ d:脚注参照による本文内容や背景知識の理解・口語訳 e:重要古語・文法等の理解	定期考査 小テスト 課題 等

	故事	「漁父之利」「矛盾」 （ p.98～p.101） 「朝三暮四」 （p.104～p.105） 漢文チェックポイント(3) (p.106～p.107) 漢文チェックポイント(4) (p.115～p.117)	◎			○	○	a:音読による、語感・文体の習得への積極性 b: 授業の教材解説に対する理解 c: 本文・口語訳書写や提出課題の正確さや丁寧さ d:脚注参照による本文内容や背景知識の理解・口語訳 e:重要語・句法等の理解	定期考査 小テスト 課題 等

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期 期末考査まで	歌物語 伊勢物語 物語 竹取物語	「芥川」（p.34～p.35） 「筒井筒」（p.39～p.41） 古文チェックポイント(4) （p.44） 「なよ竹のかぐや姫」 （p.45～p.46） 古文チェックポイント(5)(6) （p.50～p.51、p.67）	◎			○	○	a:音読による、語感・文体の習得への積極性 b: 授業の教材解説に対する理解 c: 本文・口語訳書写や提出課題の正確さや丁寧さ d:脚注参照による本文内容や背景知識の理解・口語訳 e:歴史的仮名遣い・重要古語等の理解	定期考査 小テスト 課題 等
	史伝・唐詩	「管鮑之交」 （ p.108～p.109） 「静夜思」「涼州詞」 （ p.118～p.119） 「月夜」 （p.122） 漢文チェックポイント(5) (p.126～p.127)	○			○	◎	a:音読による、語感・文体と返り点の習得への積極性 b: 授業の教材解説に対する理解 c: 口語訳書写や提出課題の正確さや丁寧さ d:脚注参照による本文内容や背景知識の理解・口語訳 e:重要語・句法等の理解	定期考査 小テスト 課題 等
後期 中間考査まで	随筆(二) 枕草子 日記文学 土佐日記	「雪のいと高う降りたるを」 「中納言参り給ひて」 （p.54～p.57） 「門出」（p.68～p.69） 「帰京」（p.72～p.73）	○			○	○	a:音読による、語感・文体の習得への積極性 b: 授業の教材解説に対する理解 c: 本文・口語訳書写や提出課題の正確さや丁寧さ d:脚注参照による本文内容や背景知識の理解・口語訳 e:重要古語・文法等の理解	定期考査 小テスト 課題 等

	思想・唐詩	「論語」 「孟子」 （ p.128～p.135） 「送元二使安西」 (p.119) 「登高」 (p.123) 漢文チェックポイント(6) (p.139)	○			◎	○	a:音読による、語感・文体の習得への積極性 b: 授業の教材解説に対する理解 c: 本文・口語訳書写や提出課題の正確さや丁寧さ d:脚注参照による本文内容や背景知識の理解・口語訳 e:重要古語・文法等の理解	定期考査 小テスト 課題 等

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
後期 期末考査まで	軍記物語 平家物語 俳諧紀行 おくのほそ道	「祇園精舎」 「木曽の最期」 (p.74～p.83) 「旅立ち」 「平泉」 (p.85～p.88)	◎			○	○	a:音読による、語感・文体の習得への積極性 b: 授業の教材解説に対する理解 c: 本文・口語訳書写や提出課題の正確さや丁寧さ d:脚注参照による本文内容や背景知識の理解・口語訳 e:歴史的仮名遣い・重要古語等の理解	定期考査 小テスト 課題 等
	文章	「雑説」 「罷説」 (p.140～p.143) 漢文チェックポイント(7) (p.146)	○			◎	○	a:音読による、語感・文体と返り点の習得への積極性 b: 授業の教材解説に対する理解 c: 口語訳書写や提出課題の正確さや丁寧さ d:脚注参照による本文内容や背景知識の理解・口語訳 e:重要語・句法等の理解	定期考査 小テスト 課題 等

※ 表中の観点について

a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力　d:読む能力　e:知識・理解

※ 年間指導計画作成上の留意点

原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において、特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。また、生徒の学習達成度により、予定を変更する可能性がある。